

# 「みんなで考える杭瀬川」を行いました！

杭瀬川に残る旧河道を活用し、かつてあった緩流域環境の再生をどのように行うかについて、地域の皆様・地域で活動する団体・行政と一緒に考える「みんなで考える杭瀬川」を行いました。

## in 大垣市

平成26年2月22日(土)

10時～11時半:現地見学会

- ①大垣市野口地先(6.2～6.4k付近右岸)
- ②大垣市綾野地先(7.0～7.4k付近右岸)

14時～16時 :意見交換会

綾里地区センター

**合計30名の方が参加！**

(地元自治会、市民団体、名古屋市や稲沢市などからの参加者、有識者、行政関係者など)

## in 養老町

平成26年2月23日(日)

10時～11時:現地見学会

- ①養老町祖父江及び江月地先(4.1～4.2k付近右岸)

13時～14時半 :意見交換会

小畑公民館

**合計18名の方が参加！**

(地元自治会、市民団体、稲沢市などからの参加者、行政関係者など)

現場でも様々な意見が出ました！



旧河道の様子が改めてわかりました！

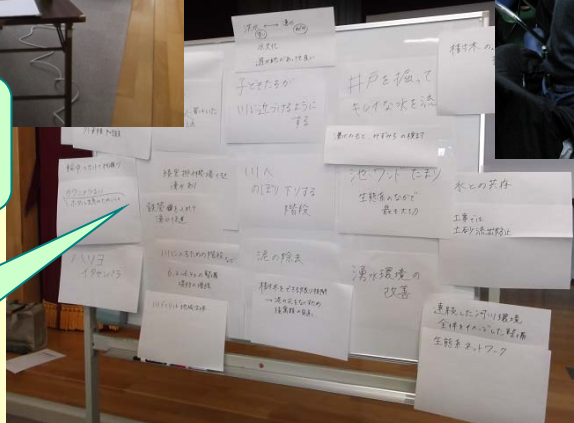


熱い議論がありました！



市民団体による活動内容を知ることができました！

いろんな意見をたくさんいただきました！



地元ケーブルテレビ局の取材もありました！



## 22日(大垣市)に出された主な意見

- ・湧水環境の改善は重要である。具体的には、井戸を掘って、きれいな水を流すことや、鉄管を入れて湧水を促進させることが考えられる。
- ・大垣市は、洪水という災いと、湧水という恵みが共存する水文化のまちであり、水との共存が必要である。
- ・輪中や遊水池があってもよいのではないか。
- ・ホタルの放流が行われているが、ホタルが生息するためには、エサとなるカワニナが少ない。
- ・昔は、ゲンジボタルが7.0~7.4kの旧河道の上流付近にいた。
- ・現在の旧河道には、オオクチバス等の外来種問題がある。
- ・旧河道の底泥除去が必要である。
- ・樹木の連続性は重要であるが、泥の元となる樹木をできる限り抜開することが望ましい。せっかく遊歩道を作っても、樹木が繁茂しては怖くて入れない。
- ・川づくりは地域主体である。まずは、子供たちが川に近づけるようにする必要がある。川へ入るための、のぼり下りする階段がほしい。
- ・連続した河川環境、全体をイメージした整備を行ってほしい。

## 23日(養老町)に出された主な意見

- ・堤防沿いの水路は環境よりも治水を優先してほしい。
- ・環境の再生が治水に影響を与えないようにしてほしい。
- ・樹木の伐開は、治水上一番重要なことだと思う。
- ・再生のための工事をする場合は、堤防から離れていれば、問題ない。
- ・環境は昔よりも悪くなっているのので、昔のおりに再生することは大変難しいと思う。
- ・周辺には、ホタルも魚もたくさんいた。
- ・祖父江樋管からの水はあくまで生活排水なので、昔のきれいさに比べると今は汚いと思う。
- ・昔と今の川の違いは、一言でいうと泳げた。
- ・子供にとっては、今は川以外でも遊び場がとて少ない。
- ・今の旧河道には、子供が近づきにくいので、遊び場として使えるような場所にしてほしい。
- ・杭瀬川以外の川でも旧河道があれば、整備できるのではないか。
- ・洪水後の維持管理が簡単なことが重要だと思う。

## 参加いただいた方からの感想など

- ・杭瀬川についてはじめて知る機会となり、とても勉強となりました。
- ・杭瀬川の地域に住む方々の生の意見が聞けてとてもよかったです。
- ・河川環境の知識がなくても、無理なく参加することができました。
- ・現地踏査と室内の説明会は、半日で終わらせてほしい。
- ・蛍やハリヨがすむ、非日常が味わえる杭瀬川になってほしい。
- ・スポーツ公園で遊びながら、隣接する場所で環境学習が出来る場が出来たら嬉しい。
- ・是非とも、水面へのアクセスとしての階段やスロープを設置していただき、子供達を安全に川へ呼び込みたいと考えている。
- ・杭瀬川について、初めての勉強でしたが、皆さんのお話を聞いて大変勉強になりました。勉強のみで、なにも提案できませんが、ありがとうございました。
- ・子供たちが水辺に近づける環境整備も合わせてお願いします。金をかけて作っても、近づけないものは×です。
- ・工事中の現地見学会を実施してください。

みなさんの意見を、緩流域環境再生の具体化に活かしていきます。

具体化した内容に関し、みなさんに確認いただく場を設けますので、ぜひ参加してください！